

第2学年2組 学級活動（1）学習指導案

日時 令和6年11月27日
第5校時 13:30～14:15
学校名 昭島市立拝島第一小学校
対象 第2学年2組26名
授業者 諸伏 初音

研究主題

互いを認め合い、社会でよりよく生きる児童の育成
～学級・学校でよりよい人間関係をつくる活動を通して～

1 議題 「2年2組オリジナルのおばけやしきになるようなコーナーをきめよう。」

学級活動（1）ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 目標

- ・みんなで楽しい学級生活のために、みんなで話合いや合意形成を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話合い活動の基本的な進め方などについて身に付けるようにする。
- ・楽しい学級生活をつくるために、集団としてのよりよい話し合いの方法などについて考え、他の児童の意見をよく聞き、受け入れながら、仲良く助け合って実践することができるようにする。
- ・楽しい学級生活をつくるために見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己の考えや思いをもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとする態度を養う。

3 評価規準

ア よりよい生活を築くための知識・技能	イ 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	ウ 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
① 話合いの進め方を理解している。 ② 話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。	① 議題について自分の考えをもち、話合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。 ② 学級生活を楽しくするために、互いの意見をよく聞き合意形成を図っている。 ③ 決まったことを仲よく助け合って実践している。	① 学校生活に関心をもち、話合いに進んで取り組もうとしている。 ② 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもっている。 ③ みんなの決めたことのよさを感じながら、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

4 指導観

(1)議題観

[学級活動]

2 内容(1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

学級や学校における生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること。

3 内容の取扱い(1) [〔第1学年及び第2学年〕]

話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。

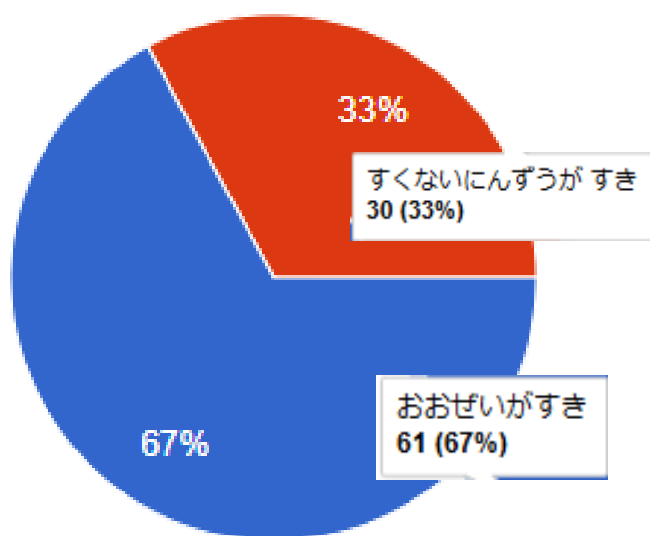
本議題は、小学校学習指導要領（平成29年3月告示）第6章特別活動をうけて、本学級の児童の興味や意欲をより高められるよう、作成した。自分たちで決めたことについて協働するとともに、一連の活動を振り返り、次の課題へとつなげていくことまでを含んでいる。

(2) 児童の実態

ア 児童の実態

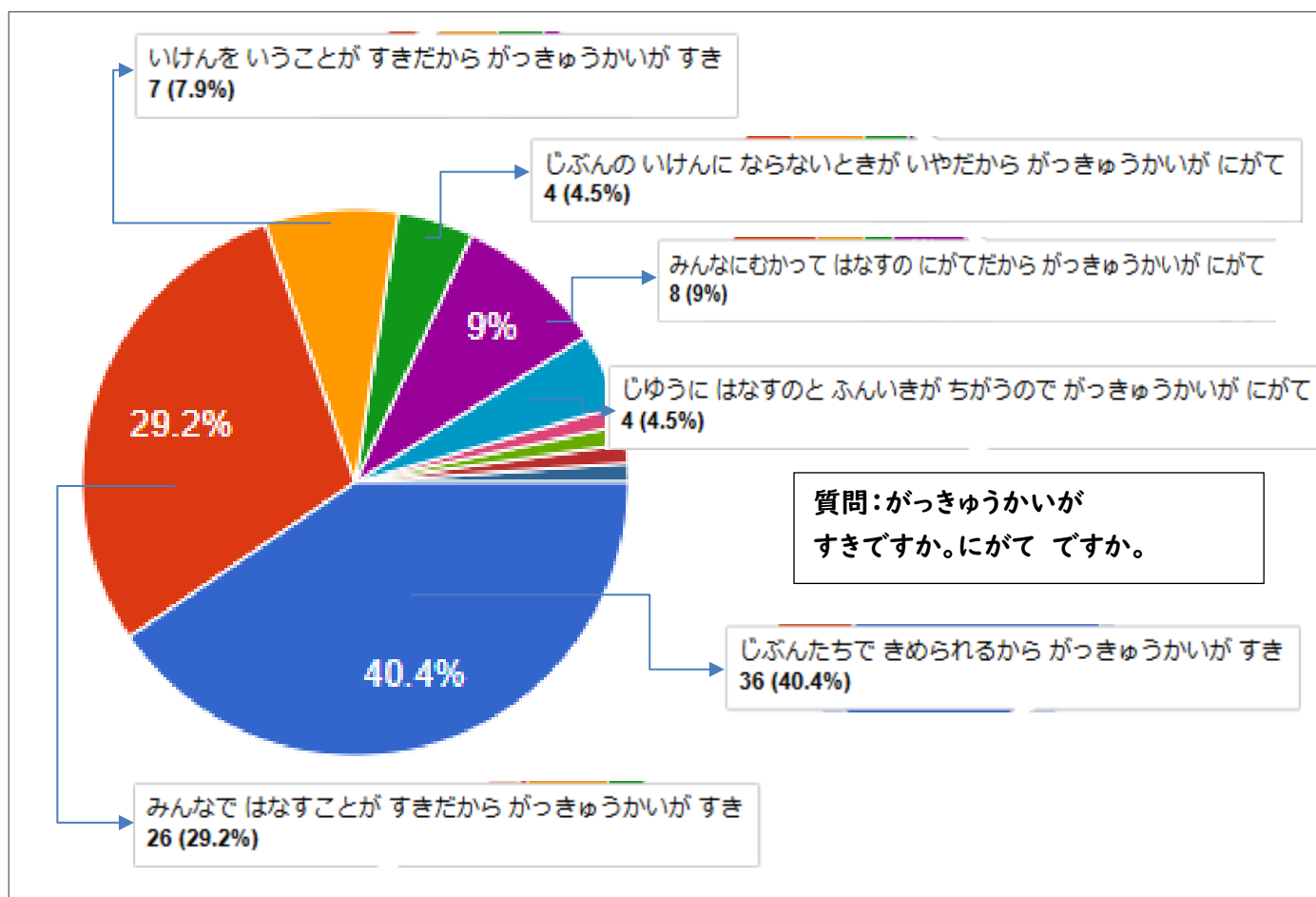
・学年の実態

学年の実態を掴むために、令和6年度9月に2年生児童全員に対して、「友達とのことや話し合いに関するアンケート」を実施した。この時点で子供たちは、クラスのみんと遊んだり話合ったりすることに対して前向きであることが分かった。

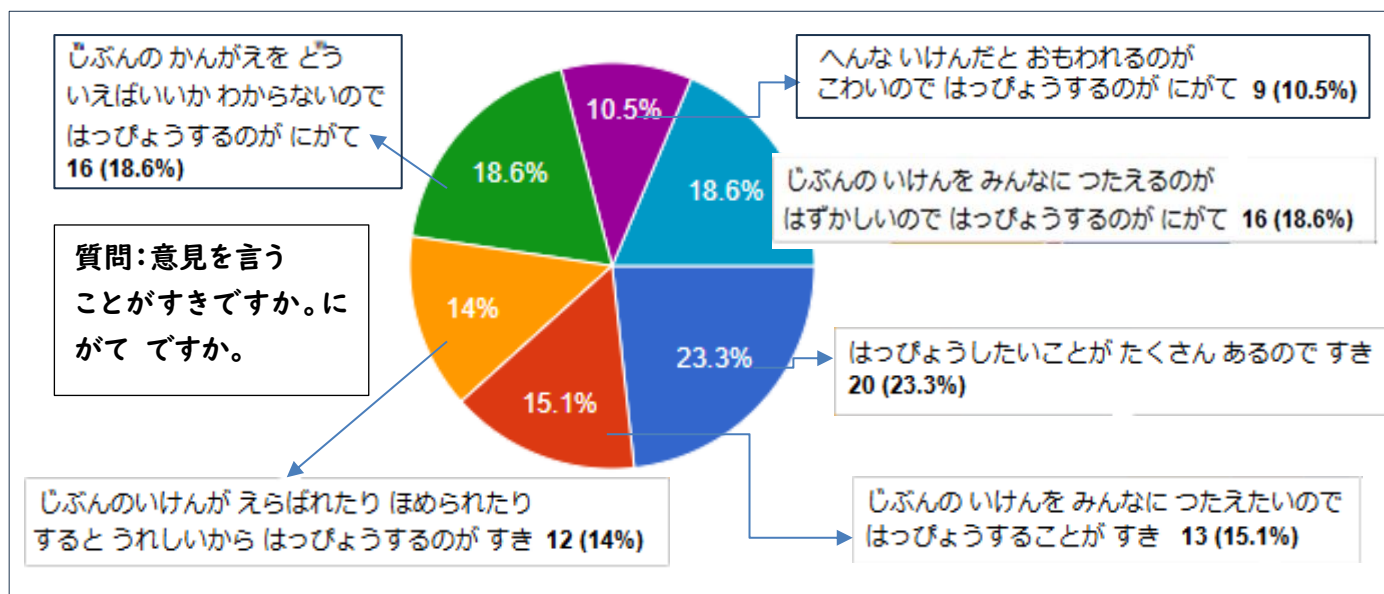


質問:おおぜいで あそぶことと
すくないにんずうで あそぶこと
どちらが すきですか。

学級会については、8割ほどの児童が、自分たちで決められる、みんなで話すことが好き、意見を言うことが好きなどの理由で、前向きにとらえている。



しかし、発表することについては後ろ向きな回答もあり、その理由としては、恥ずかしい、失敗したりまちがえたりすることが不安ということが挙げられていた。



このような不安に対しては、クラス児童の温かく受け止める聞き手としての力を育てることが大切だと考えた。まず担任が児童の意見を前向きに受け止めることが重要であり、手本となるために児童の発言に対して肯定の言葉で反応するという手だて（後述6指導にあたって 手だて2の④、手だて4の②「ナイスで学級会」 参照）を考案した。

・学級の実態

本学級は、元気で素直な児童が多い。楽しいことが大好きで、何かするときにはみんなで考え協力しながら活動しようとする姿が見られる。また、友達のよいところを見付けられる児童が多く、温かな雰囲気のある学級である。しかし、自分の意見が通らないと感情的になってしまう児童もいる。また、発言力のある児童に流され、自分の考えや意見をもったり発言したりすることを控えてしまう児童もいる。そのため、授業ではハンドサインを取り入れながら自己主張するハードルを下げたり、考えや意見を発表することはみんなが考えるきっかけになると日頃から指導し、正答に限らず発表することに対してねぎらいの拍手したりするなど、発言しやすい雰囲気作りをしている。

学級活動については、学級会での話し合いを教師主導で行ってきた。1学期の終わりには、学級会での司会グループの役割を説明し、一部の役割を児童が行うようにした。

2学期からは司会グループを決めて、輪番で行い一人一回は経験した。まだ自分たちだけでは進めることが難しいので教師主導で進むことが多いが、回数を重ねるたびに、司会グループの役割や話し合いをどのように進めていけばいいのか少しずつ理解してきている。また、話し合いの前には学級会ノートに自分の考えや意見を理由とともに書かせることで、学級会では普段は全体で発表することが苦手な児童も発表する機会が増えてきている。

少しずつではあるが「自分たちで学級会を進めることができた」「自分たちで話し合って決めることができた」「今までよりも発表することができた」という達成感や成長を感じながら楽しく学級会に参加できるような姿を目指したい。

学級目標は、「たのしくてあかるい2年2組」で、そのようなクラスにするために具体的に、「ていねいにさいごまでがんばる」「やさしく教え合う」「元気いっぱい」なクラスにすることを目指している。1学期は「やさしく教え合う」ためにはどうしたらいいかという議題で話し合い活動をした。

〔これまでの学級会での議題、決まったこと〕

1学期（教師主導）

回数	月日	議題	決まったこと
第一回	5月24日	学びゅう目ひょうをきめよう	たのしくてあかるい2年2組 ・ていねいにさいごまでがんばる ・やさしく教え合う ・元気いっぱい
第二回	5月31日	学びゅうでのあそびを考えよう	・風船バレー ・コンセントおにごっこ
第三回	6月21日	学びゅう目ひょうの「やさしく教え合う」とは、どんなことをすればいいのか考えよう。	・喋ってはいけないときに、優しく教える。
第四回	6月28日	話してはいけないときにやさしく教え合うクラスになるためにはどうすればいいか考えよう。	・小さい声で教える。 ・「しー」の合図を出す。
第五回	7月12日	劇の役割は何があるか考え、劇をしよう	・劇の役割（スイミー、赤い小さな魚たちなど）

2 学期（児童の司会グループ主体）

回数	月日	議題	決まったこと
第六回	9 月 12 日	2 学きにクラスでやりたい楽しいことをきめよう	・怖くないお化け屋敷 ・ドッチボール ・椅子取りゲーム ・ハンカチ落とし ・うまりレー ※たくさん意見が出たため、第八回学級会で決めることになった。 ・お化け屋敷 ・風船バレー ・なんでもバスケット ・劇 ・人狼ゲーム
第七回	9 月 20 日	学びゅう会の名前をきめよう	・スーパーウルトラ学びゅう会
第八回	10 月 3 日	2 学きにクラスでやる楽しいこととじゅん番をきめよう	・10 月…なんでもバスケット、風船バレー ・11 月…ハンカチ落とし、椅子取りゲーム ・12 月…怖くないお化け屋敷、お化け屋敷
第九回	10 月 11 日	10 月にクラスであそぶ「なんでもバスケット」と「ふうせんバレー」のルールをきめよう	・時間は 15 分ずつ ・「なんでもバスケット」 普通のルール/早歩き ・「風船バレー」 普通のバレーのルール（3 人目で相手のコートへ/落とさない/相手のコートに入らない）
第十回	10 月 17 日	1 年生と遊ぶあそびをきめよう	・ドロケイ ・だるまさんが転んだ ・じゃんけん列車
第十一回	10 月 31 日	11 月にクラスであそぶ「ハンカチおとし」と「いすとりゲーム」のルールをきめよう	いすとりゲーム ・時間は 15 分、曲は怪獣の花唄、できたら拝一エイサー、スマブラの歌、ドラゴンナイト ハンカチおとし ・時間は 15 分、早歩き、落とすものは風船の中に鈴を入れたもの（名前は「ハンカチおとし」から「ふうすずおとし」に変更）
第十二回	11 月 8 日	「ふつうのおばけやしき」にするか「2 年 2 組オリジナルのおばけやしき」にするかきめよう。	・2 年 2 組オリジナルのおばけやしき ・少し怖くする

(3) 教材観(議題選定の理由)

1 学期の終わりには、国語の授業内で「スイミー」の音読劇をやりたいという意見が多く出たため、学級会で話し合いをし、児童がやりたいと言ったことを 1 学期のお楽しみ会という形で実践した。みんなで話し合いをし、一つのを仕上げていく過程の中で、学級目標の「やさしく教え合う」を意識して楽しく実践できていた。そこで、児童のやりたいという思いを大切にしたいと思い、2 学期の初めには、クラスでやりたい楽しいことを話し合った。その中で 2 学期の終わりのお楽しみ会は、まだやったことのないおばけやしきをやってみたいという意見が出て決まった。

本議題は、どのようなおばけやしきにするか具体的に決めるために設定した。児童のやってみたいという思いから出た議題での話し合いは、児童から意見が多く出るのではないかと考えた。また、「おばけやしき」が怖いと感じる児童のことも考え、「みんなが楽しめる」おばけやしきになる工夫を考えることで、友達の意見をよく聞き、受け入れようとする児童が増えるのではないかと考えた。考えや思いを発表したり、友達の意見を聞いたりしながら友達のことも考え、よりよいおばけやしきの工夫を自分たちで考えて、楽しんで活動できるようにしていきたい。

5 指導計画と評価計画

日時	○児童の活動		□評価基準(評価方法)
	司会グループの活動	学級全体の活動	
11月5日 (朝学習)		議題を学級全体で共有する。 学級会ノートに議題、話し合う日、自分の考えと理由を書く。	イー①議題について自分の考えをもち、話し合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。
11月7日 (昼休み)	司会グループの役割の確認と練習をする。		アー②話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。
11月8日		議題『「ふつうのおばけやしき」にするか「2年2組オリジナルのおばけやしき」にするかきめよう。』で話し合いをする。	アー①話し合いの進め方を理解している。 ウー①学校生活に関心をもち、話し合いに進んで取り組もうとしている。
11月22日 (朝学習)		議題を学級全体で共有する。 学級会ノートに議題、話し合う日、自分の考えと理由を書く。	イー①議題について自分の考えをもち、話し合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。 ウー②学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもっている(学級会ノート)
11月25日 (昼休み)	司会グループの役割の確認と練習をする。		アー②話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。
11月27日 本時		話し合いをする。	イー②学級生活を楽しくするために、互いの意見をよく聞き合意形成を図っている。
12月中		役割分担をして、準備をする。	イー③決まったことを仲よく助け合って実践している。
12月23日か 24日		お楽しみ会として「2年2組オリジナルおばけやしき」を実践する。	ウー③みんなの決めたことのよさを感じながら、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

6 指導にあたって

目指す児童像

- ◇自分の考えや思いを発表できる子。
- ◇友達の意見をよく聞き、(相手の意見を)受け入れようとするができる子。
- ◇みんなと一緒に取り組み、楽しんで活動する子。

(1) 目指す児童像に迫るための手だて (研究の視点に基づいて)

手だて1 司会グループのよりよい運営指導

- ① 学級会オリエンテーションを行い、司会グループの役割を知り経験する。
 - ・ 輪番で全員に司会グループを経験させ、活動の意欲を高める。
 - ・ 司会台本を工夫し、だれでも安心して司会ができるようにする。教師が支援しながら、自分たちで進行しているという実感をもたせていく。

手だて2 意見をより表出できる (場づくり)

- ① タブレット (ポジショニング) などの活用をし、自分の考えを出しやすくする手段の幅を広げる。
- ② 学級会ノートに事前に議題に対する自分の考えを記入しておき、発言しやすくする。教師の方で、児童がどのような考えをもっているか事前に知っておくことで、必要に応じて支援することができる。
- ③ 話型を掲示し、発言の仕方を確かめられるようにしておく。
- ④ 次の活動につながる意欲付け、気付かせたい課題など教師の終末の助言を工夫する。

手だて3 よりよい「議題設定」の工夫

- ① 児童の実態に合わせて議題を設定する。
 - ・ 学期の初めにどんなことをしたら、皆が楽しく過ごすことができるかを話し合い、全員で議題を出し合い、整理する。
 - ・ 話し合う順を全員で話し合い、議題を共有する場をつくり、取り組んでいく。
 - ・ 話し合いの種ボックスも活用し、上記以外で話し合いたいことがあれば採用していく。

手だて4 見通しをもって学級会に取り組める (教室環境づくり)

- ① 学級会コーナー (教室後ろ) に、前時までの話し合いの流れや本時に関係することを掲示しておく。
- ② 意欲をもたせる学級会グッズと掲示物の活用。

【司会台本】



【役わり名札】



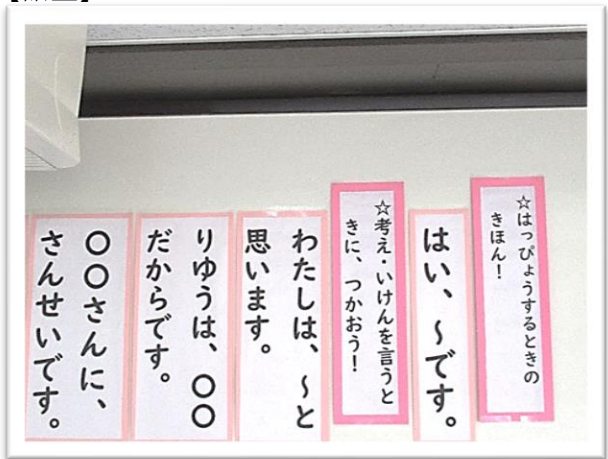
【時計表示】
【時計表示】



【ナイスで学級会】
【ナイスで学級会】



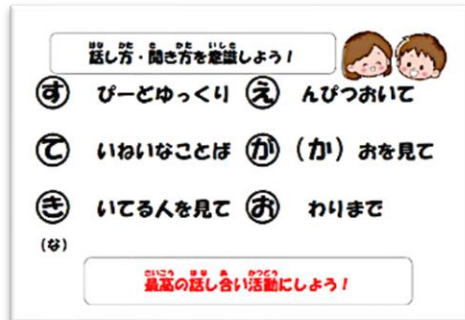
【話型】



【話合いのたねボックス】



【昨年度から継続しているもの】



7 本時の展開

(1) 議題「2年2組オリジナルのおぼけやしきになるようなコーナーをきめよう。」

(2) ねらい

自分の考えを発表したり友達の意見を受け入れたりしながら、楽しく話合いを進めることができるようにする。

(3) 提案理由

2学期もみんなで最後までていねいに頑張り、2年2組オリジナルになるようにコーナーを考えて、怖いのが好きな人も苦手な人もみんなが楽しめるお楽しみ会にしたいと思ったから。

(4) 決まっていること

- ・コーナーは4つまで
- ・日時 12月23日か24日のどちらか2時間で行う。
- ・場所 教室
- ・準備は学活の1時間と中休みや昼休みを使う。

活動内容	○指導上の留意点 ◇評価
1 始めの言葉 2 司会グループの紹介 ・司会 ・副司会 ・黒板記録 ・ノート記録 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話合いのめあての確認 6 決まっていることの確認 7 話合い 話し合うこと 「コーナーですること」	○司会をするというハードルを下げるため、副司会も司会と同じ役割とする。 ○自治的な活動の範囲外に自分たちで気付かないなど、必要な場合は助言する。特に人権上配慮が必要な場合は指導する。 ○児童の活動の様子（発言・行動・つぶやき）を記録し、終末の助言で取り上げる。 ※取り上げる内容 ・前回から成長が見られた言動 ・司会グループの工夫、努力 ・友達、学級全体のことを考えた言動 ・話合いをまとめるような建設的な発言 ・提案理由を意識した発言 ・自分のめあてや前回の振り返りを生かした発言 ・次への成長のために気付かせたいこと ・実践、生活への意欲付け ・普段あまり発言しない児童の発言

・出し合う (13 分)	○発表する児童がいない場合、学級会ノートで事前に書いた自分の意見を見るよう助言する。 ○事前に学級会ノートで児童の意見を確認しておき、話し合いの際に、発表する児童がいない場合は教師が声掛けをして発表を促す。 ○発言するのが苦手な児童でも意見を出しやすいように、理由は「出し合う」では言わなくていいことにする。 ○黒板記録の児童が書いたものは、教師が貼っていくことで話し合いの進行に迫っていくようにする。 ○意見がたくさん出て、黒板記録の児童の書くペースが進行に追い付かないときには、教師が書いたり、次の意見を発表するのを待ってもらったりする。
・比べ合う (13 分)	○「出し合う」で出た意見に対して、賛成の意見と理由を発表するように事前に指導する。 ○あまり意見が出ない場合は、周りの人と話し合う時間を(1分)をつくるよう教師が助言する。 ○「比べ合う」から「まとめる」の活動に移る前に、意見が出ていないものは、取り上げなくていいか司会の児童が確認するよう事前に指導する。
・まとめる (13 分)	○「まとめる」活動はまだ難しいので、必要があれば教師が司会に代わり一部話し合いを進める。 ○意見が4つ以下の場合、このまま決めていいか確認してから決める。 ○意見が4つ以上の場合、組み合わせることができないか助言する。 ○多数決をする場合、どれになってもいいことを全員に確認してからにする。
◇イー②学級生活を楽しくするために、互いの意見をよく聞き合意形成を図っている	
8 決まったことの発表	
9 振り返り 学級会ノートに書く ・自分の話し合いの振り返り ・頑張っていた友達(話の聞き方や話し方) 頑張っていた友達を発表する	○今までの振り返りを踏まえ、自分や友達のよかったところを振り返るように助言する。 ○教師が児童の学級会ノートに書いた振り返りを担任が見て回り、誰に発表してもらうか、あらかじめ決めておく。
10 先生の話	○本時の児童の言動の中から、具体的な事実や名前を挙げて称賛する。 ○次回に向けた課題について、問い掛けて助言をして気付くことができるようにする。 ○これからの活動への意欲付けをする。
11 終わりの言葉	

(6) 板書計画

2 学きもみんなでさい後までていねいにがんばり、2 年2 組オリジナルになるようにコーナーを考えて、こわいのが好きな人もにが手な人もみんなが楽しめるお楽しみ会にしたいと思ったから。

めあて

話し方聞き方に気をつけながら話し合おう。

話し合うこと

コーナーですること

第八回スーパーウルトラ学級会

ぎだい

二年二組オリジナルのおぼけやしきになるようなコーナーをきめよう。

ていあん理ゆう

まとめる

くらべる

出し合う

(7)資料